



門まわり商品

機能門柱対応表札

取付・取扱説明書

四国化成の製品をお買いあげいただきありがとうございます。
末永くご愛用いただくために、この「取付・取扱説明書」をよくお読みいただき正しい
施工とご使用をお願いします。

●施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。





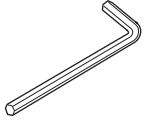

工事店様へ…この取付・取扱説明書にはご使用方法・使用上のご注意などが記載されていますので施工後、
お客様に必ずお渡しください。

施工上・使用上の注意事項

1. 穴をあける際、電気配線の断線のおそれがありますので、壁の中の電気配線を避けてください。
2. 出っ張りに当たってけがをされるおそれがありますので、通路の頭上には取り付けないでください。
3. この製品にお子様等、ぶら下がらないでください。変形したり、破損し、思わぬけがをすることがあります。
4. 変色、キズ、破損、塗装はくりをおこすおそれがありますので、シンナー、ベンジン、みがき粉、タワシなどを使って
清掃しないでください。

施工の前に

●下の表をご覧ください、梱包内容をお確かめください。

部 品 名 称	形 状	数 量	
表 札 本 体	表札によって異なります。	1	
六 角 ナ ッ ト (※アルディ門柱 対応表札のみ。)		ステンレス、タイル+ステンレス表札：M3	2
		ガラス表札：M4	4
		真鍮表札：M3	3
六 角 穴 付 ボ ル ト (※クレディ門柱 対応表札のみ。)		ガラス表札：M3×20 ^L	4
		その他の表札：M3×10 ^L	
ワ ッ シ ャ (M3用) (※クレディ門柱 対応表札のみ。)	 	ガラス表札：φ8	4
		その他の表札：φ8	
六 角 レ ン チ 呼び2.5ミリ (※クレディ門柱 対応表札のみ。)		1	
取付・取扱説明書		1	

1

表札の取り付け

■アルディ門柱 対応表札の場合

1. 穴位置詳細図の寸法を参考にして、下穴をあけてください。

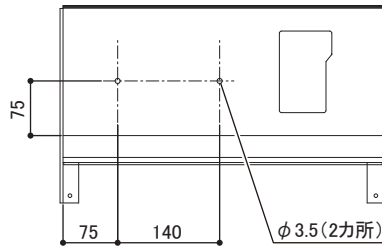
注1) 真鍮の場合は、ボルトの位置が文字や書体によって異なるため、現場合わせにて対応ください。

注2) 07:表札および表札LED照明の取り付けは、アルディ門柱本体の取付・取扱説明書を参照してください。

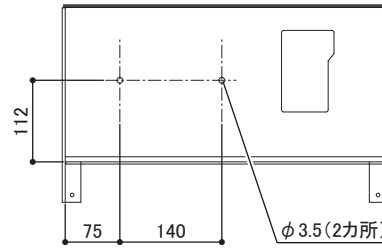
穴位置詳細図

●ステンレス、タイル+ステンレス表札の場合

機能パネル(アルミ)

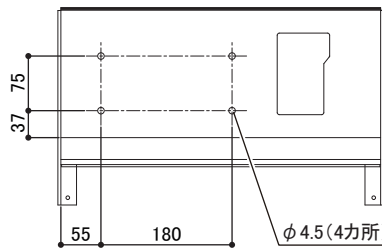


機能パネル(木調・塗り壁)

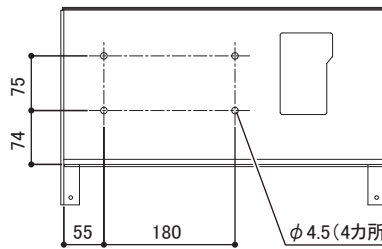


●ガラス表札の場合

機能パネル(アルミ)

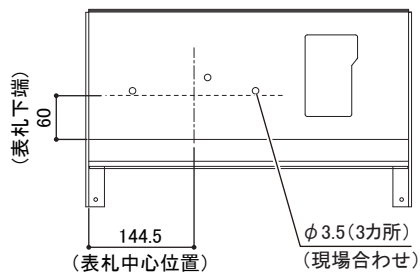


機能パネル(木調・塗り壁)

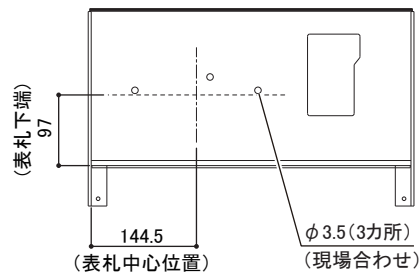


●真鍮表札の場合

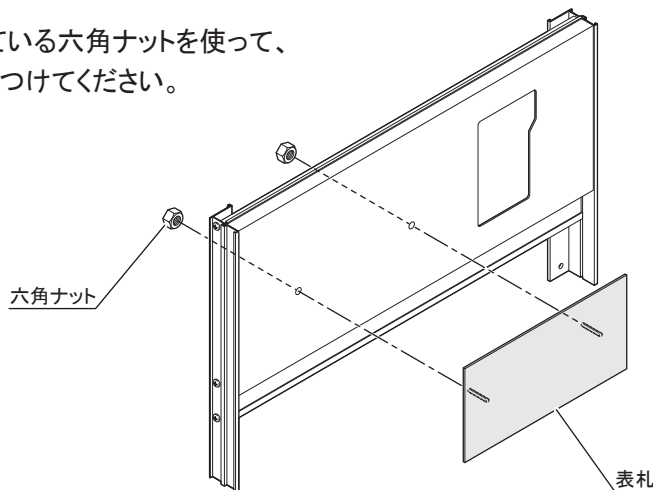
機能パネル(アルミ)



機能パネル(木調・塗り壁)



2. 表札に同梱している六角ナットを使って、
図のように取りつけてください。

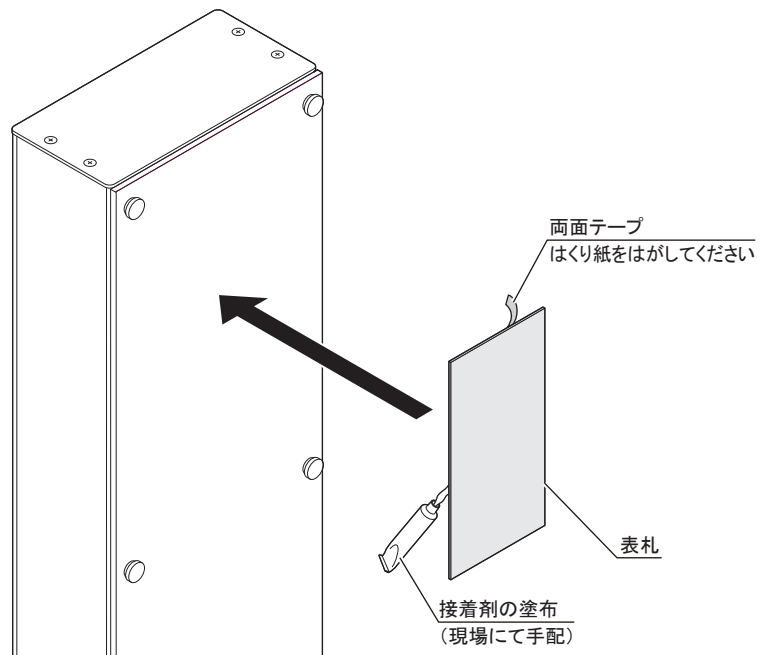


図はステンレスを示す。

■マイ門柱SI アルミタイプ、ポリカタイプ 対応表札の場合

1. 門柱への貼りつけ箇所を決め、貼りつけ面の汚れ、油分を取り除いてください。
2. 表札裏面の両面テープのはくり紙をはがしてください。
3. 表札裏面の両面テープの貼りつけ箇所以外に接着剤を適量塗布してください。
4. 表札を門柱に圧着して取りつけてください。

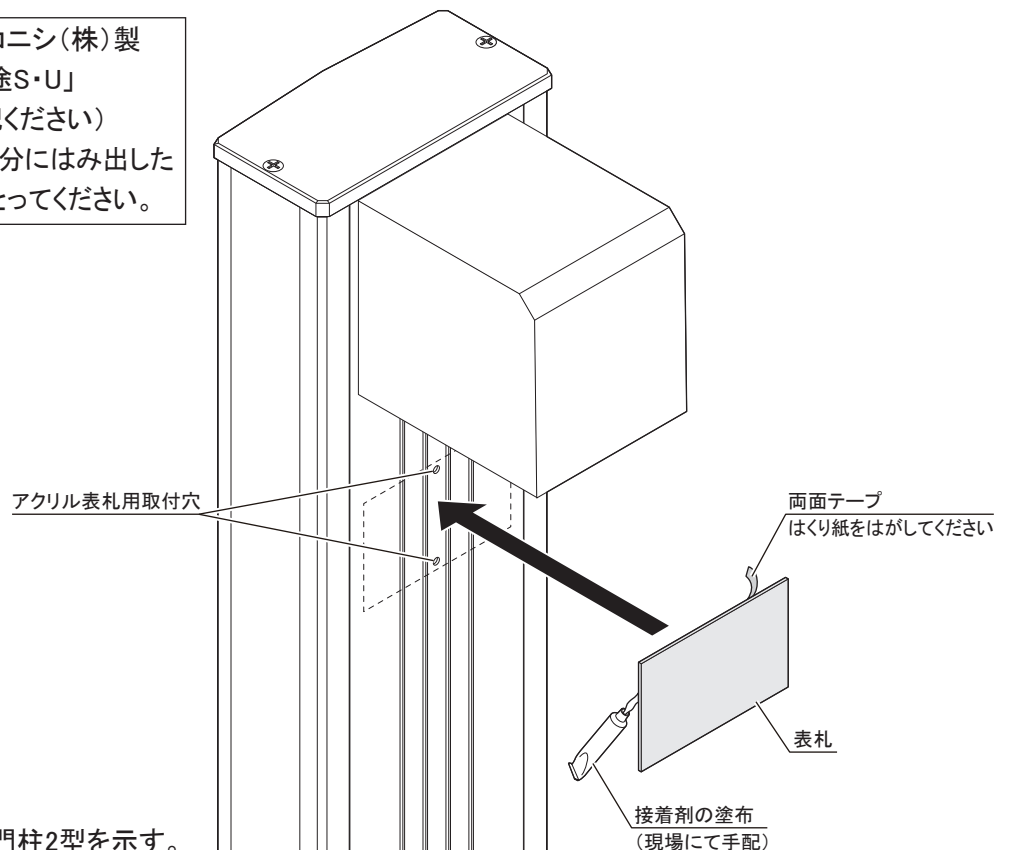
注1) 推奨接着剤「コニシ(株)製
ウルトラ多用途S・U」
(現地にて手配ください)
注2) 取り付け後、余分にはみ出した
接着剤は拭きとってください。



■マイ門柱 2型、3型、4型 対応表札の場合

1. 門柱への貼りつけ箇所を決め、貼りつけ面の汚れ、油分を取り除いてください。
その際、アクリル表札用取付穴にかぶせるようにしてください。
2. 表札裏面の両面テープのはくり紙をはがしてください。
3. 表札裏面の両面テープの貼りつけ箇所以外に接着剤を適量塗布してください。
4. 表札を門柱に圧着して取りつけてください。

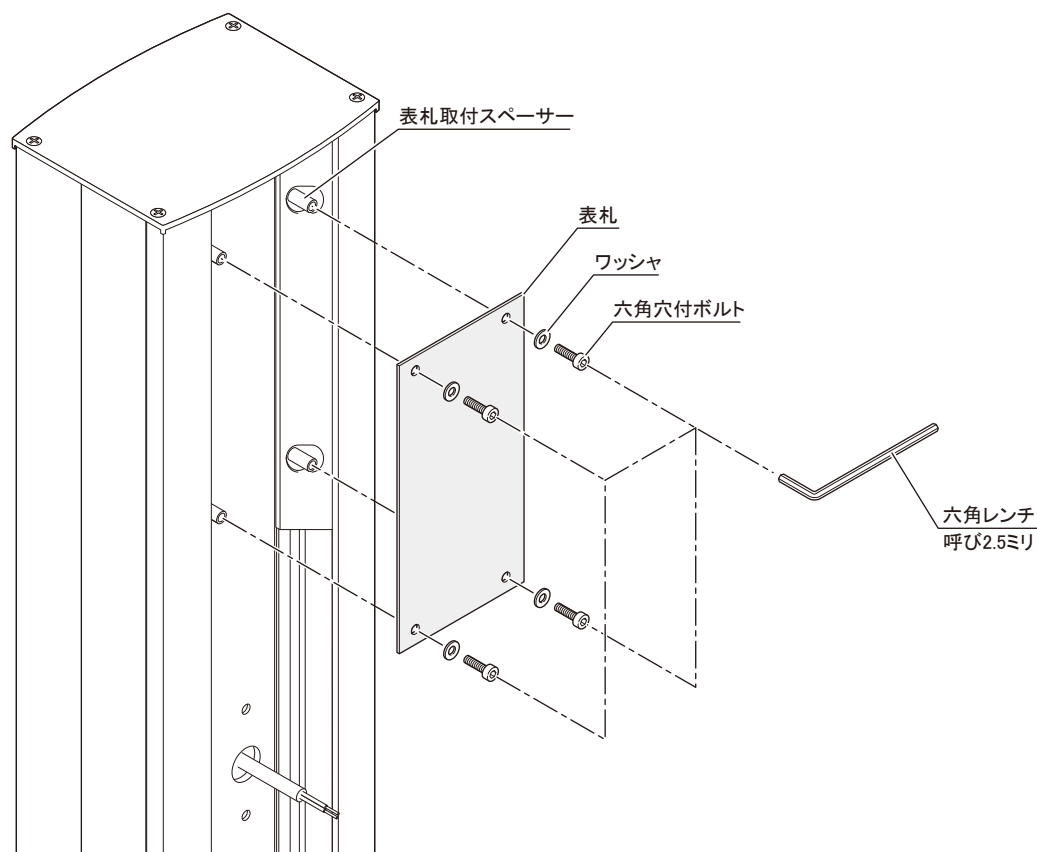
注1) 推奨接着剤「コニシ(株)製
ウルトラ多用途S・U」
(現地にて手配ください)
注2) 取り付け後、余分にはみ出した
接着剤は拭きとってください。



■クレディ門柱 1型、2型、3型 対応表札の場合

1. 表札に同梱している六角穴付ボルトを使って、表札取付スペーサーに取りつけてください。

注) ネジを締めつけすぎないようにしてください。締めつけすぎると、表札の破損や緩みの原因になります。



保守とお手入れ

【全表札共通】

- 日々のお手入れは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてホコリを取るだけで結構です。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、洗剤が残らないように水洗いした後、から拭きしてください。
- 酸性洗剤・アルカリ洗剤・シンナー・ベンジン、みがき粉、タワシなどを使って清掃することは避けてください。腐食や変色、キズ、塗装はくり等の原因になります。
- 定期的にお手入れや点検を行ってください。
(1ヶ月に1~2回はお手入れしてください。また、台風や風雨等で水分が付着した後は別途早めの洗浄をしてください。)

【ステンレス製品】

- 特に工業地帯ですすや鉄粉が付着しやすい場所や、海岸が近く潮風にさらされる場所ではお手入れをされないときさびを誘発する場合がありますので、表面の汚れは早い時期に中性洗剤を含ませた布で拭いた後、水拭きしてください。水分は柔らかい布で完全に拭きとってください。

【真鍮製品】

- 緑青が発生した場合、緑青は比較的脆いため、乾いた布で表面を傷付けないようこすり取り除いてください。その後、水洗いしてから、から拭きしてください。
※緑青は水に溶けにくく無害です。

- 改良のため予告なしに製品の一部を変更することがありますのでご了承ください。